

令和5年度の事業実績について

●大正北部路線のコミュニティバス実証実験を開始

大正北部を運行している森ヶ内奥線及び下津井奥線については、利用者数の減少に伴い、地元とコミュニティバスへの置き換えについて協議を進めており、令和6年3月よりコミュニティバス中津川線及び下津井線の本格運行に向けた実証運行を開始することとなった。

○路線概要

- ◆コミュニティバス中津川線（火） 週1日4便
- ◆コミュニティバス下津井線（木） 週1日4便
- *実証期間中は無料。本格運行移行後 100 円（予定）

○実証運行期間

令和6年3月～令和6年9月（予定）

○実証期間中の既存路線の扱い

各実証実験路線運行曜日に合わせ既存路線を運休させる。

○本格運行後（予定）

表：本格運行に移行後のコミュニティバス 週間運行スケジュール（予定）

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
中津川線		●					
下道線			●				
下津井線				●			
大奈路線	○	○	○	○	○		

※ 大奈路線は、月曜と金曜はコミュニティバスが運行されない分、補足するように運行便数を増やして運行する予定です。



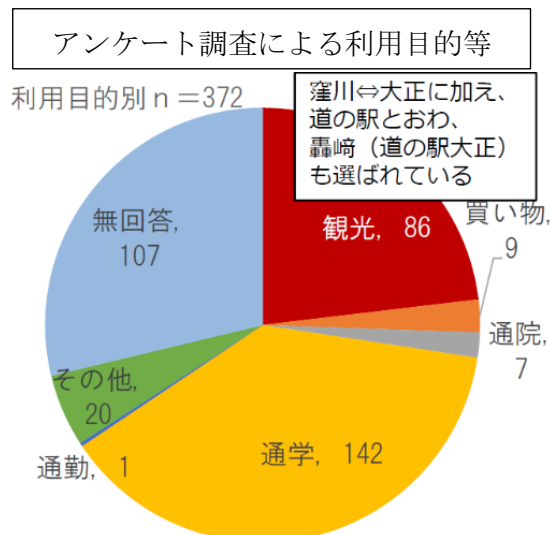
●JR チケットで予土線とバスを利用できるモーダルミックス実証実験を実施

JR 牟岐線における JR 四国と路線バスが連携して行う利便性向上事業の事例を参考に、令和5年7月22日～11月12日の期間、予土線沿線でモーダルミックスの実証実験を行った。観光客及び学生の利用が多くみられたことから一定の需要が確認できた。今後 JR 四国と本格運行に向けた協議を進めていく。

○対象区間：窪川駅～十川駅

○利用状況：合計 372 人

- ◆1日平均ご利用者数は3.26人／日。
- ◆観光目的や定期券利用者の割合が多く、予土線の利便性向上に寄与。
- ◆定期券（学生）は9月以降で利用者が増加しており、列車のない時間帯の帰宅ニーズに対応。



●コミュニティバス路線変更

◆古城線

【令和5年10月～】

火曜日運行のコミュニティバス地吉線において、「古城小学校前」での乗車人数が増加しており、バス乗車定員を超える（乗せられない）状況が発生していた。

地元区長及び住民からの要望もあったことから、金曜日運行の古城線の経路を一部変更し、「古城小学校前」を新たに経路に加えることで、地吉線利用者の分散を図ることとした。

【令和6年3月～】

運行経路上で落石が多く発生するため、安全確保のため山瀬バス停の位置を変更。



◆下道線

【令和6年3月～】

現状の運行経路から離れた集落から、地区の高齢者（コミュニティバス利用者）が自宅からバス乗降場所まで苦労しているため、経路の変更を要望された。

調査の結果、道路幅員も十分であり、延伸する区間に暮らす他住民もいることから、利便性向上の観点より運行経路を変更。

